

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6 年 6 月 26 日

（宛先）長野市長 荻原 健司 様

提出者

住 所 長野県長野市西和田二丁目29番1号
氏 名 東日本旅客鉄道株式会社 首都圏本部
長野総合車両センター所長 宮下 敏雄
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 026-243-2641

長野市廃棄物の適正な処理の確保に関する条例 第79条第2項 の規定により、令和5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	東日本旅客鉄道株式会社 首都圏本部 長野総合車両センター
事業場の所在地	長野県長野市西和田二丁目29番地1号
事業の種類	鉄道業
産業廃棄物処理計画における計画期間	2023年4月1日～2024年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項 目	目 標 値	項 目	目 標 値
排 出 量	670.85t	全 処 理 委 託 量	670.85t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	616.65t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	54.20t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

※事務処理欄

別紙2

産業廃棄物処理計画実施状況（産業廃棄物の実績の量）

		目標値	産業廃棄物の種類（実績値）														合計
			汚泥(上・下水、建設、その他)	廃油	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	木くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石)	鋳さい	ばいじん	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	水銀使用製品廃棄物	廃電池類	燃えやすい廃油	PCB	
排出量	①	670.85t	172.39t	37.21t	4.09t	17.43t	3.38t	45.86t	18.13t	127.78t	0.78t	90.80t	74.71t	0.06t	3.71t	2.86t	599.19t
自ら直接再生利用した量	②																
自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	③																
自ら中間処理した量	④																
④のうち熱回収を行った量	⑤																
自ら中間処理したのちの残さ量	⑥																
自ら中間処理により減量した量	⑦																
自ら中間処理したのち再生利用した量	⑧																
②+⑧自ら再生利用を行った量																	
自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	⑨																
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量																	
直接及び自ら中間処理したのちの処理委託量	⑩	670.85t	172.39t	37.21t	4.09t	17.43t	3.38t	45.86t	18.13t	127.78t	0.78t	90.80t	74.71t	0.06t	3.71t	2.86t	599.19t
⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑪	616.65t	138.79t	28.92t	4.09t		3.38t	45.86t	13.84t	127.78t	0.78t	90.80t	74.71t	0.06t	3.71t	2.86t	535.58t
⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑫	54.20t	33.60t	8.29t		17.43t			4.29t								63.61t
⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑬																
⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	⑭																

※ 記入に当たっては、「産業廃棄物処理計画実施状況報告書」第3面備考の4を参照してください。

計 画 の 実 施 状 況

(産業廃棄物の種類: 汚泥(上・下水、建設、その他))

不要物等発生量

有 償 物 量

排 出 量

① 172.39t

自ら直接
再生利用した量

②

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③

自ら中間処理
した量

④

④のうち熱回収
を行った量

⑤

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥

自ら中間処理により
減量した量

⑦

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩ 172.39t

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪ 138.79t

⑩のうち再生利用業者
への処理委託量

⑫ 33.60t

⑩のうち熱回収認定業
者 への処理委託量

⑬

⑩のうち熱回収認定業
者以外の熱回収を行う
業者への処理委託量

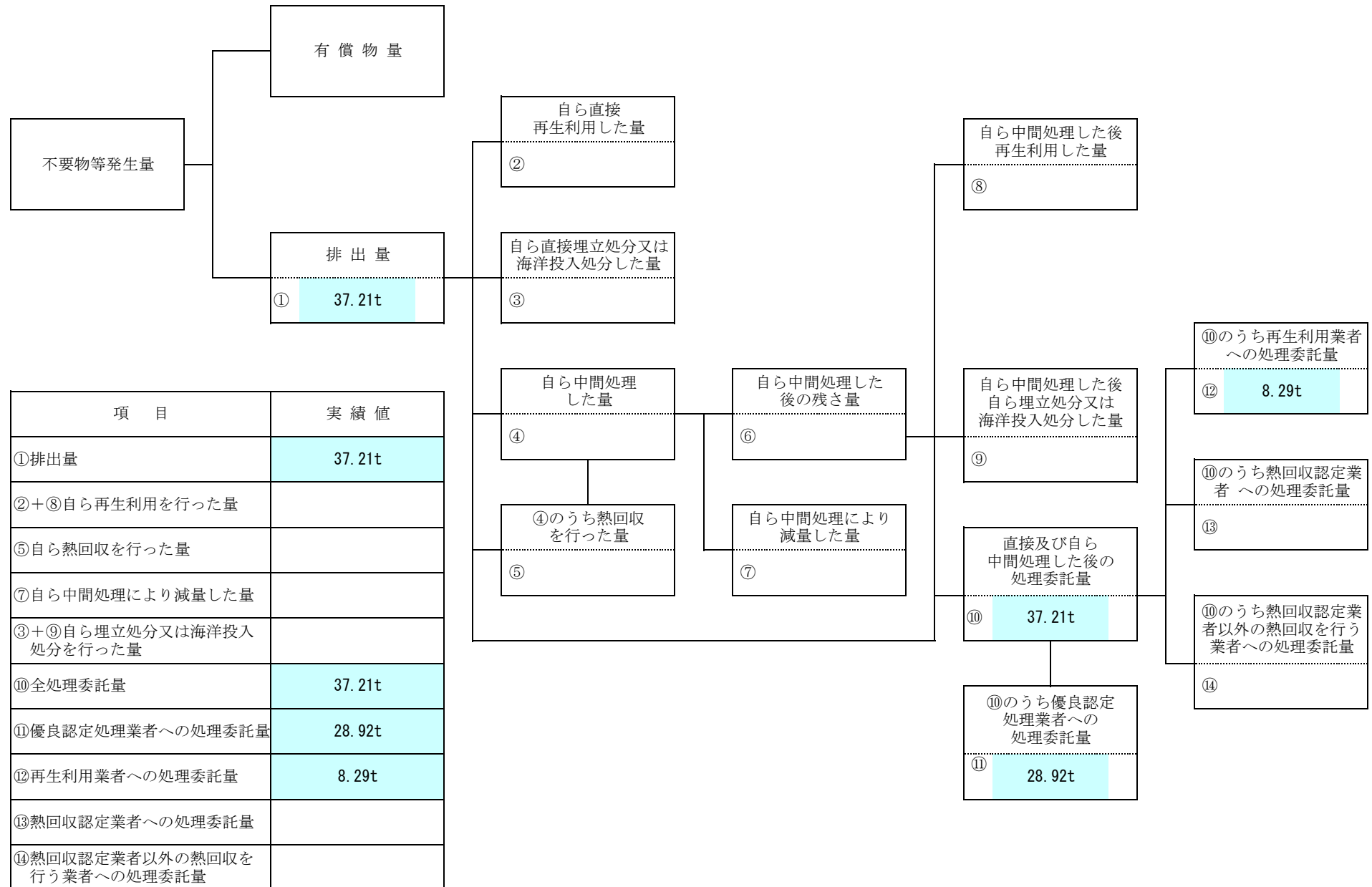
⑭

項 目	実 績 値
①排 出 量	172.39t
②+⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	172.39t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	138.79t
⑫再生利用業者への処理委託量	33.60t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

計 画 の 実 施 状 況

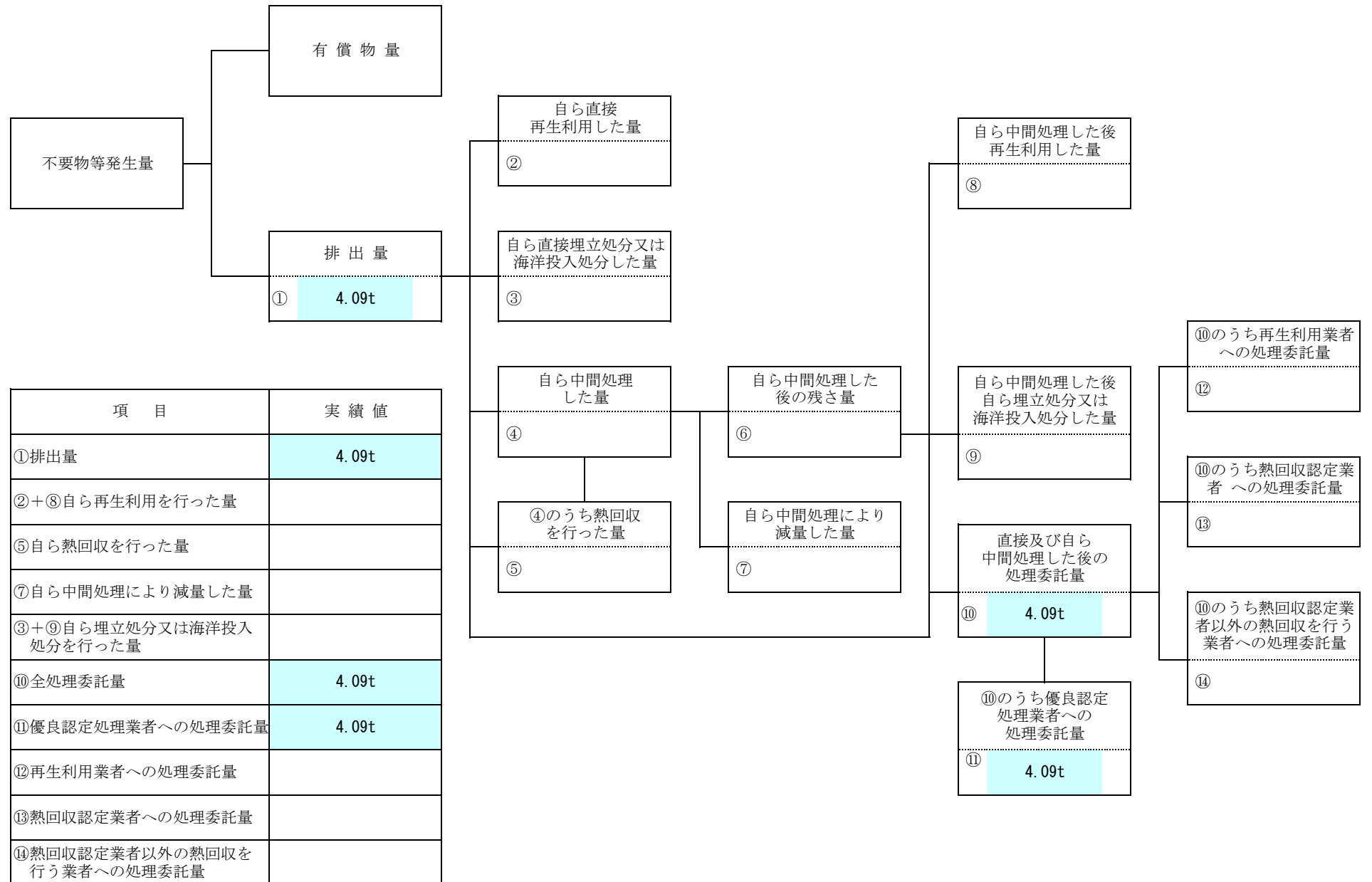
(産業廃棄物の種類:

廃油)



計 画 の 実 施 状 況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール含む))

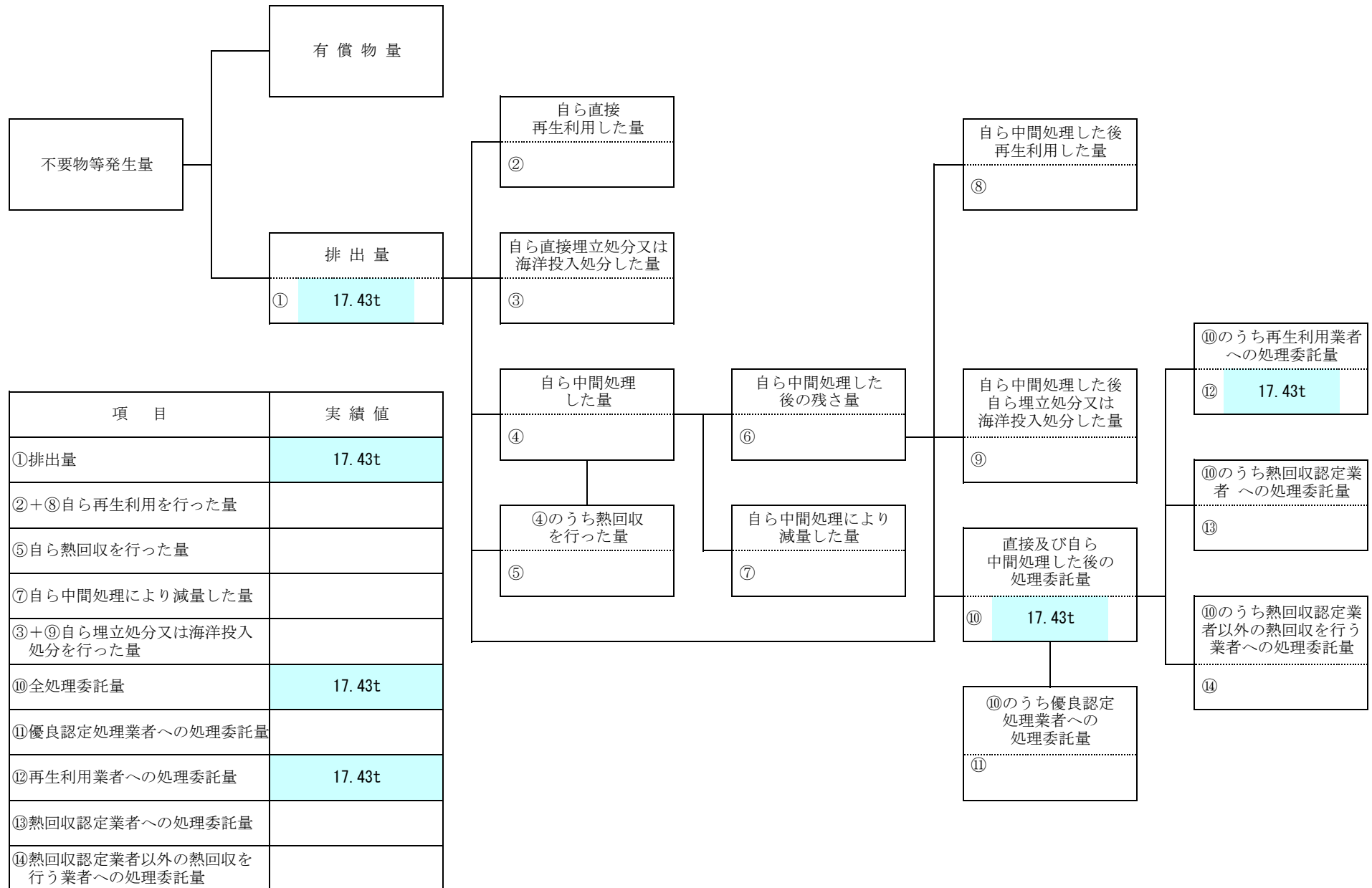


計 画 の 実 施 状 況

(産業廃棄物の種類:

木くず

)

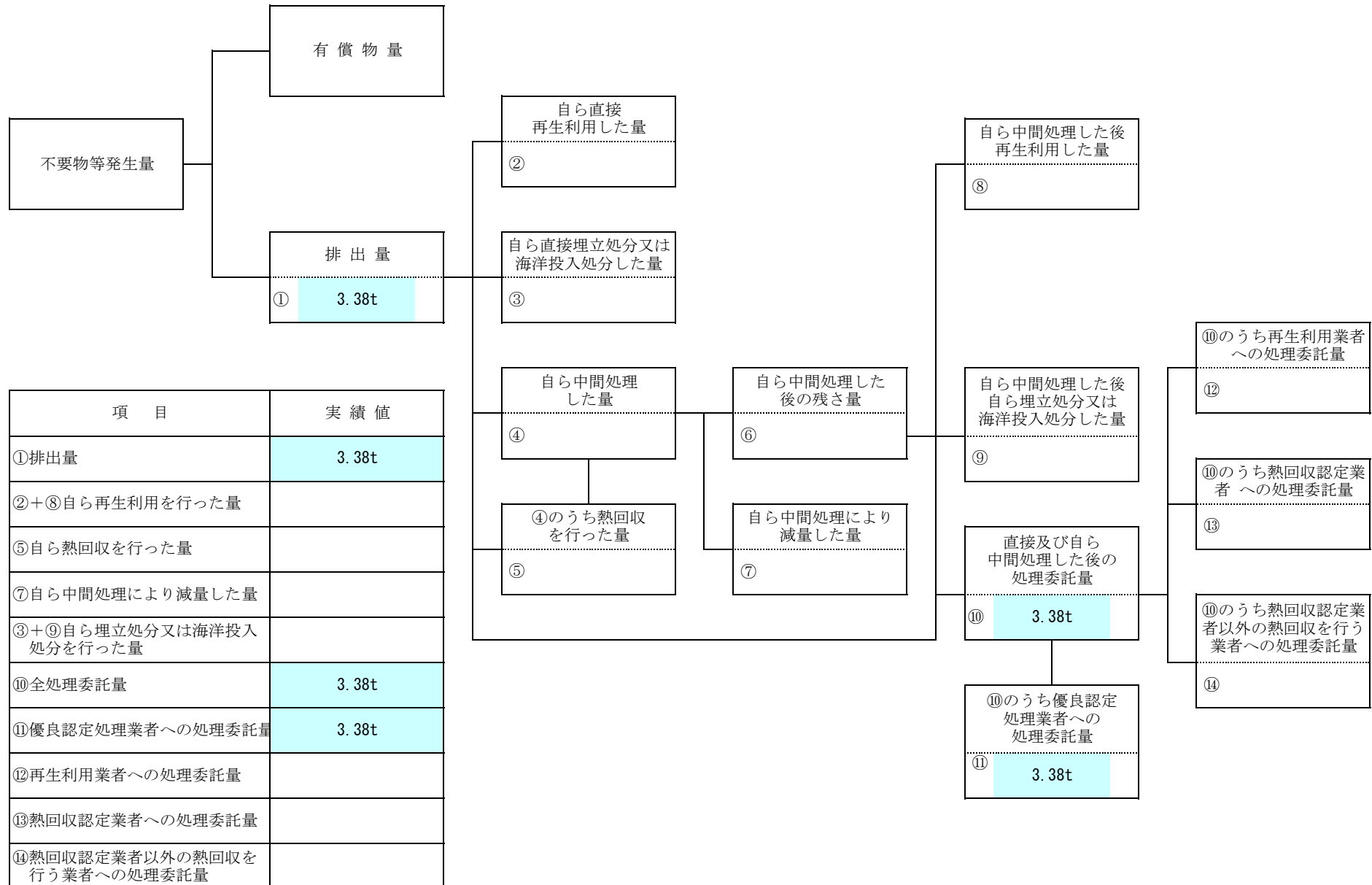


計 画 の 実 施 状 況

(産業廃棄物の種類:

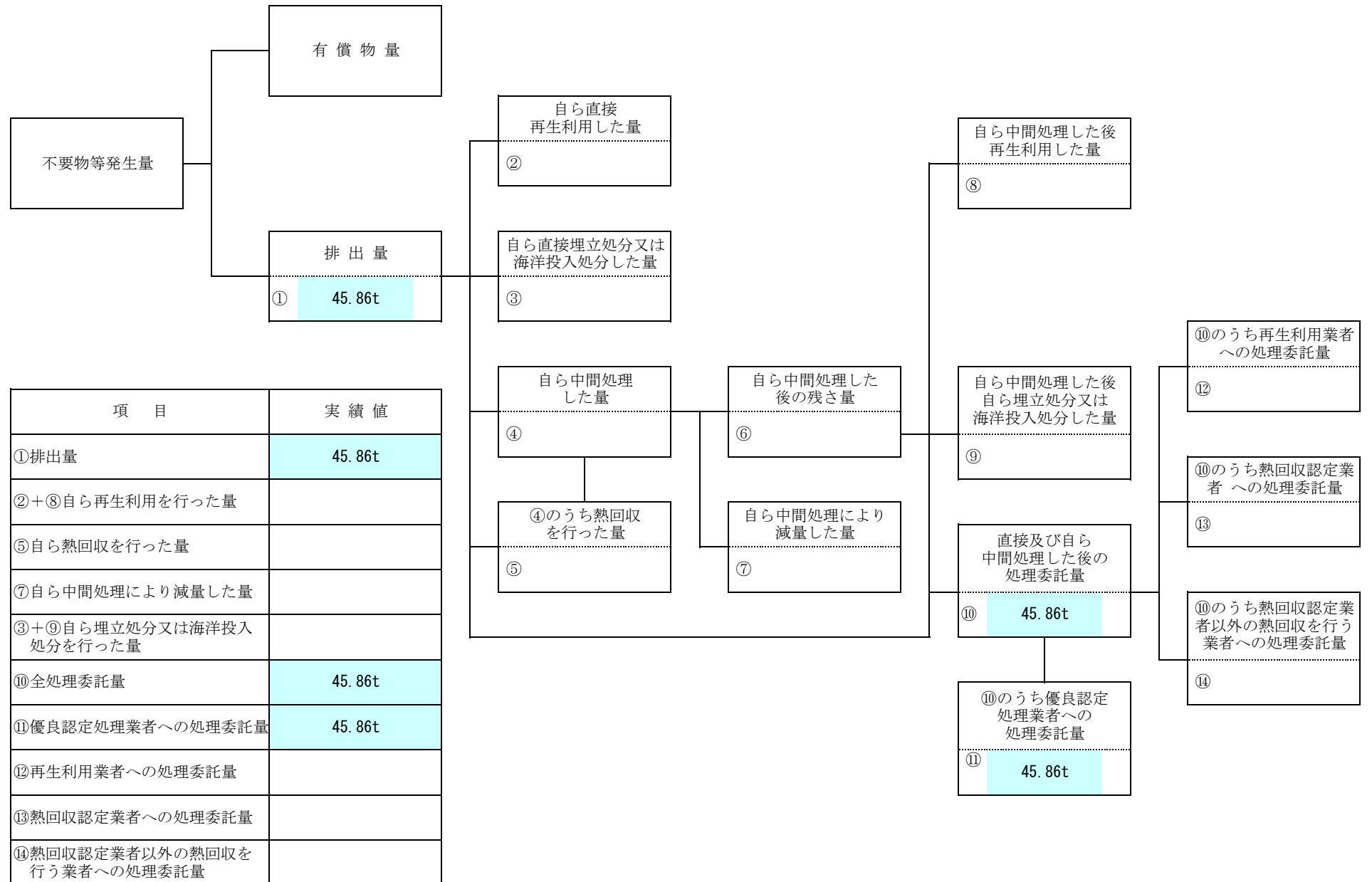
金属くず

)



計 画 の 実 施 状 況

(産業廃棄物の種類: ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード含む))



計 画 の 実 施 状 況

(産業廃棄物の種類:

鉾さい

)

有 償 物 量

不要物等発生量

排 出 量

① 18.13t

自ら直接
再生利用した量

②

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③

自ら中間処理
した量

④

④のうち熱回収
を行った量

⑤

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥

自ら中間処理により
減量した量

⑦

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩ 18.13t

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪ 13.84t

⑩のうち再生利用業者
への処理委託量

⑫ 4.29t

⑩のうち熱回収認定業
者 への処理委託量

⑬

⑩のうち熱回収認定業
者以外の熱回収を行う
業者への処理委託量

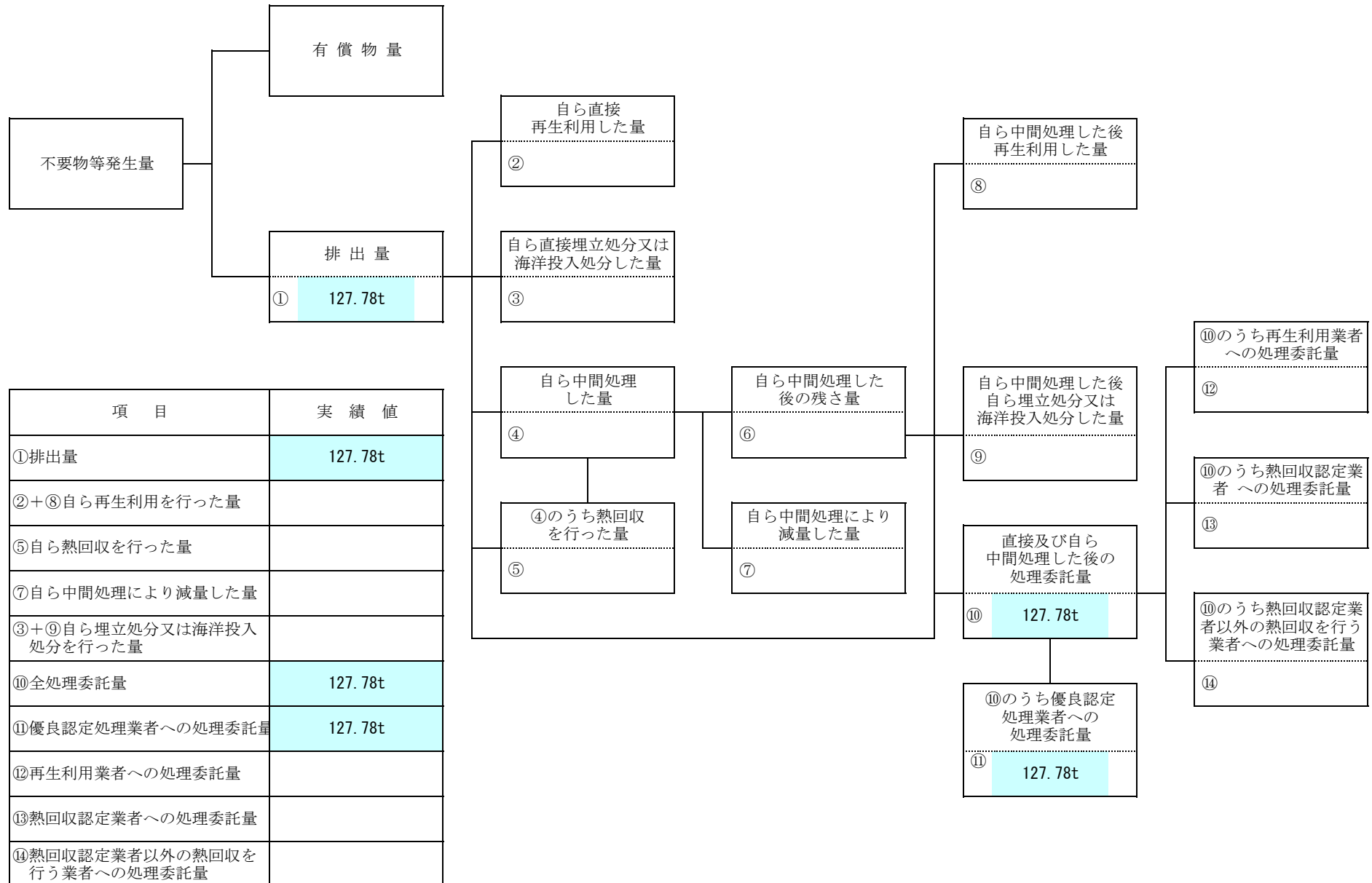
⑭

項 目	実 績 値
①排出量	18.13t
②+⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	18.13t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	13.84t
⑫再生利用業者への処理委託量	4.29t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

計 画 の 実 施 状 況

(産業廃棄物の種類:

ばいじん)



計 画 の 実 施 状 況

(産業廃棄物の種類:

安定型混合廃棄物

)

有 償 物 量

不要物等発生量

排 出 量

① 0.78

自ら直接
再生利用した量

②

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③

自ら中間処理
した量

④

④のうち熱回収
を行った量

⑤

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥

自ら中間処理により
減量した量

⑦

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩ 0.78

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪ 0.78

⑩のうち再生利用業者
への処理委託量

⑫

⑩のうち熱回収認定業
者 への処理委託量

⑬

⑩のうち熱回収認定業
者以外の熱回収を行う
業者への処理委託量

⑭

項 目	実 績 値
①排出量	0.78t
②+⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	0.78t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.78t
⑫再生利用業者への処理委託量	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

計 画 の 実 施 状 況

(産業廃棄物の種類:

管理型混合廃棄物

)

有 償 物 量

不要物等発生量

排 出 量

① 90.80t

自ら直接
再生利用した量

②

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③

自ら中間処理
した量

④

④のうち熱回収
を行った量

⑤

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥

自ら中間処理により
減量した量

⑦

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩ 90.80t

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪ 90.80t

⑩のうち再生利用業者
への処理委託量

⑫

⑩のうち熱回収認定業
者 への処理委託量

⑬

⑩のうち熱回収認定業
者以外の熱回収を行う
業者への処理委託量

⑭

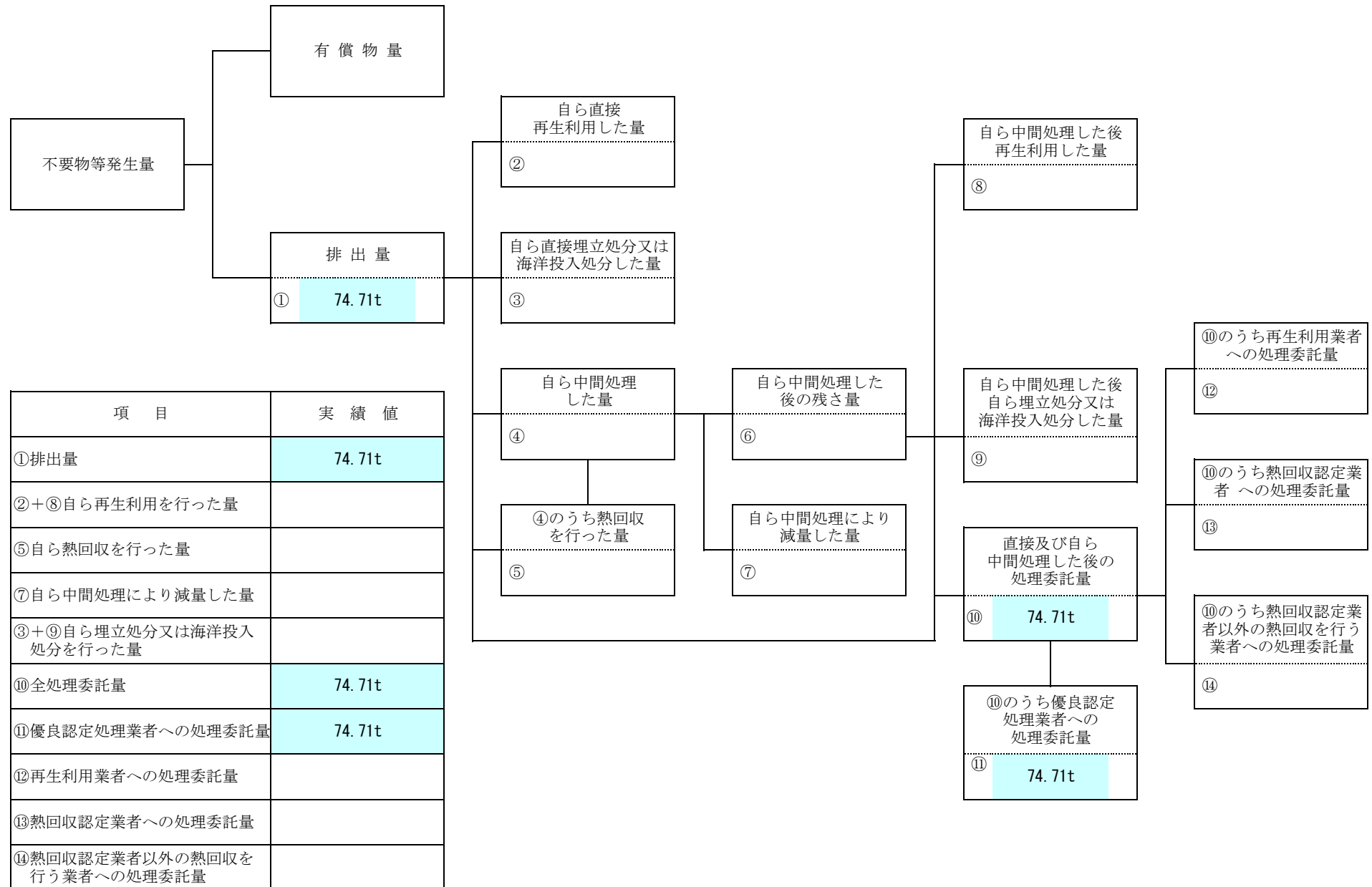
項 目	実 績 値
①排出量	90.80t
②+⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	90.80t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	90.80t
⑫再生利用業者への処理委託量	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

計 画 の 実 施 状 況

(産業廃棄物の種類:

水銀使用製品廃棄物

)



計 画 の 実 施 状 況

(産業廃棄物の種類:

廃電池類)

有 償 物 量

不要物等発生量

排 出 量

① 0.06t

自ら直接
再生利用した量

②

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③

自ら中間処理
した量

④

④のうち熱回収
を行った量

⑤

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥

自ら中間処理により
減量した量

⑦

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩ 0.06t

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪ 0.06t

⑩のうち再生利用業者
への処理委託量

⑫

⑩のうち熱回収認定業
者 への処理委託量

⑬

⑩のうち熱回収認定業
者以外の熱回収を行う
業者への処理委託量

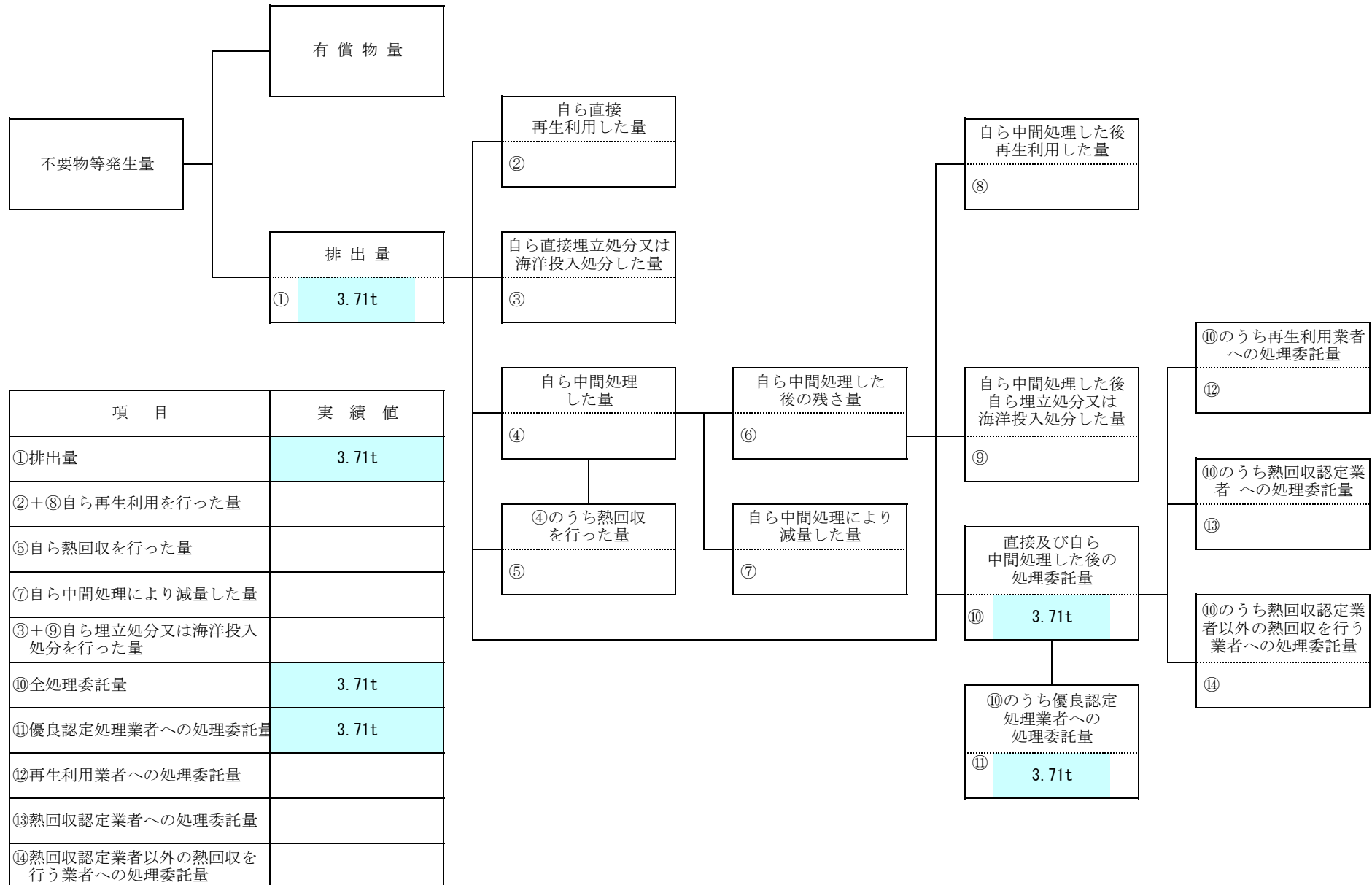
⑭

項 目	実 績 値
①排出量	0.06t
②+⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入 処分を行った量	
⑩全処理委託量	0.06t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.06t
⑫再生利用業者への処理委託量	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量	

計 画 の 実 施 状 況

(産業廃棄物の種類:

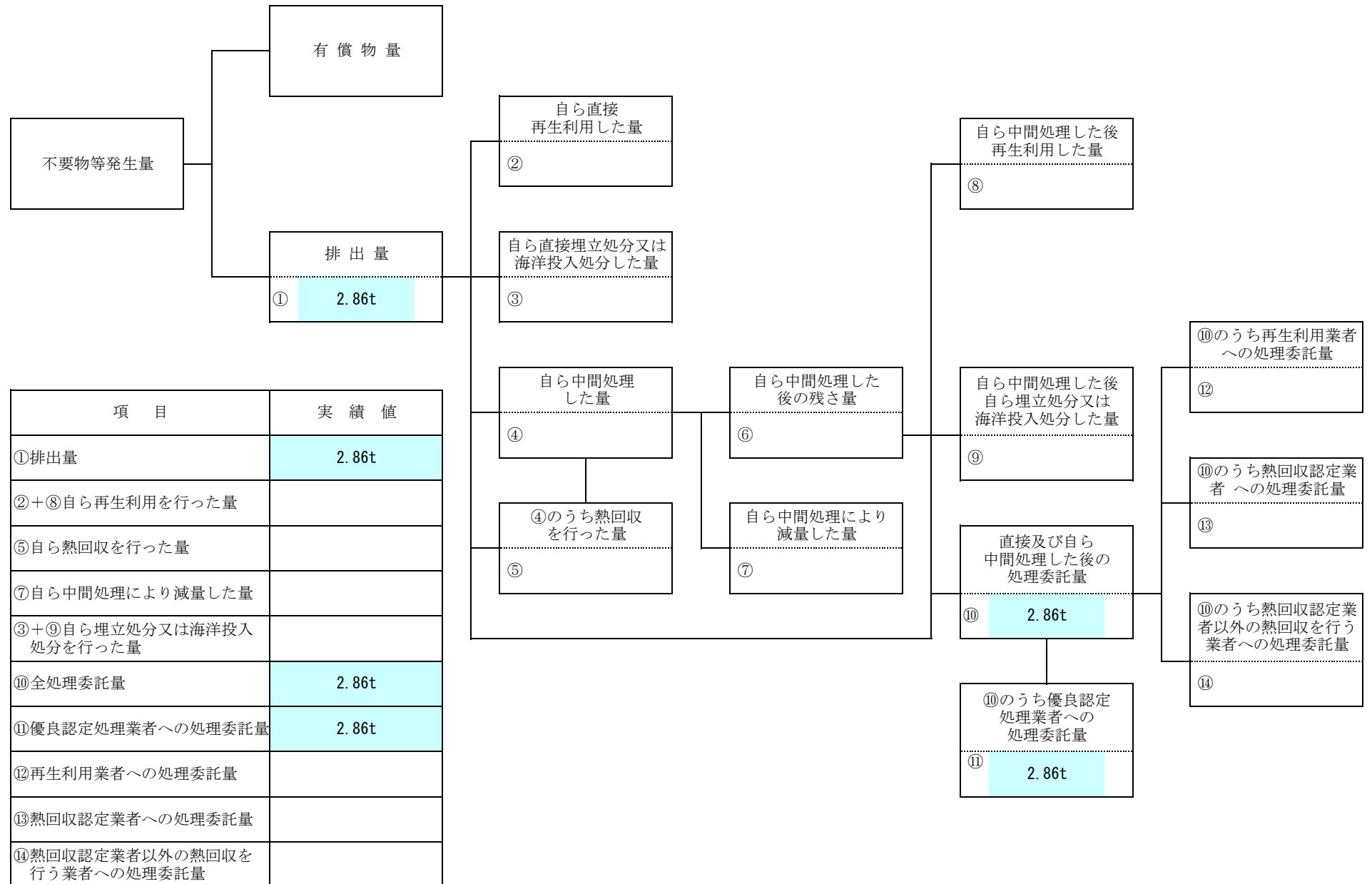
燃えやすい廃油)



計 画 の 実 施 状 況

(産業廃棄物の種類:

PCB)



備 考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が12以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。